

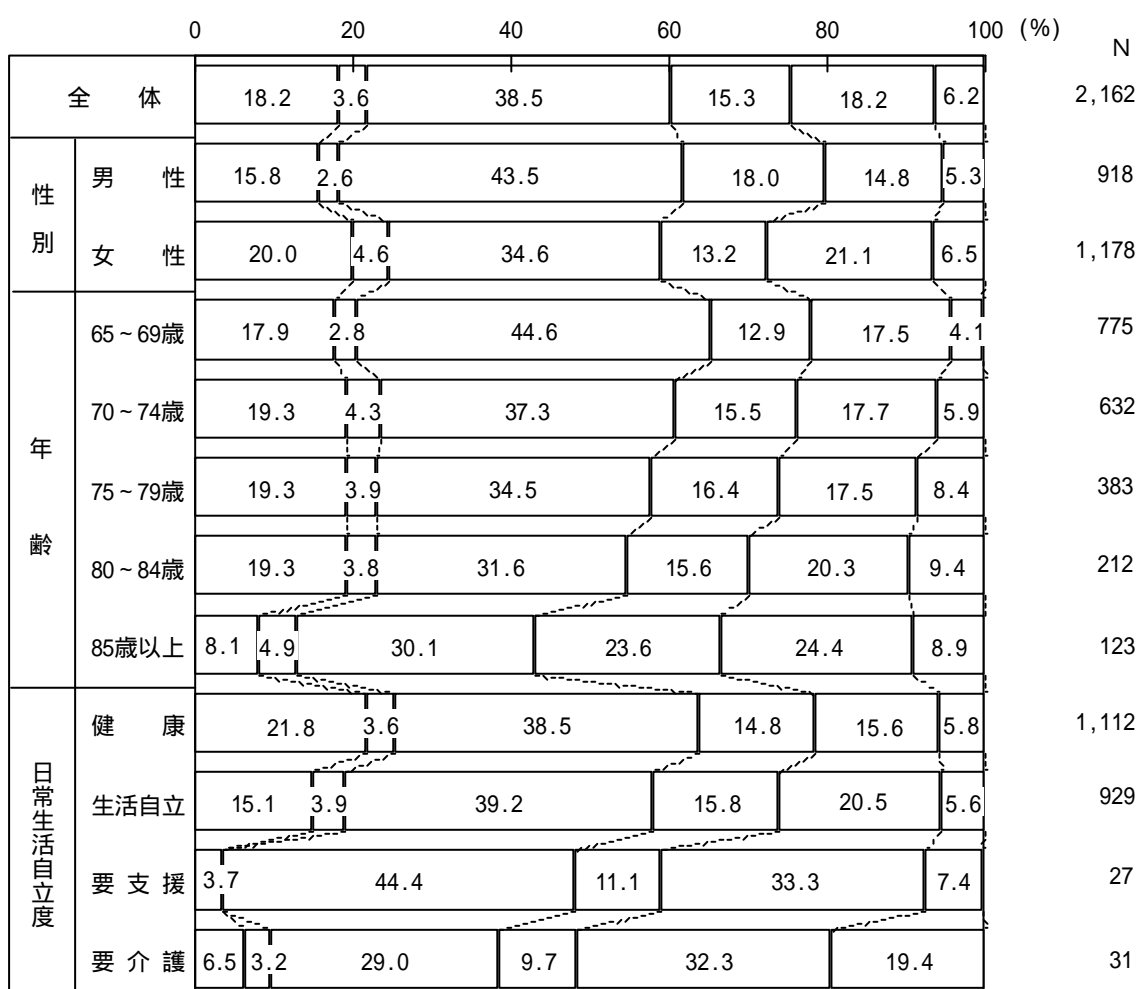
7 保健・福祉サービスの利用意向

(1) 健康教育や健康相談

保健センター、校区公民館などで行う健康教育や健康相談を「受けたことがある」のは21.8%、「受けたことがない」が53.8%です。「受けたことがある」人で「今後も受けたい」が18.2%あり、「今後は必要ない」の3.6%を大きく上回っています。「受けたい」は56.7%と、「必要ない」の18.9%の3倍です。

「受けたい」の率は、性別では男性、年齢別では若年層ほど、日常生活自立度別では自立度の高い人ほど高くなる傾向が出ています。

図2-12 健康教育や健康相談の利用意向



- 受けたことがあるし、今後も受けたい
- 受けたことがあるが、今後は必要ない
- 受けたことはないが、今後は受けたい
- 受けたことはないし、今後も必要ない
- わからない
- 無回答

本設問についての添え書きとして、以下の記述がありました。

同じ高齢者同士なので親身になって話し合えるのがよい。

歩行が思うままにいかないのが、遠い場所に出てこいといわれるとおそらくだめ。タクシー利用になるがなかなか大変と思う。

本人の体の具合が悪くては出て行けない。

現在は病院でしている。

健康なうちはいらない。

会社で受けているが今後は必要。

ホームドクターに相談している。

月1回の公民館の集いは遊びの場のように、5、6人多くても10人もこないのも意味がない。

今後受ける必要が生じたときには受けたい。

必要としないため、体を動かしている。

お説教めいた話し方で実際に即していないから。

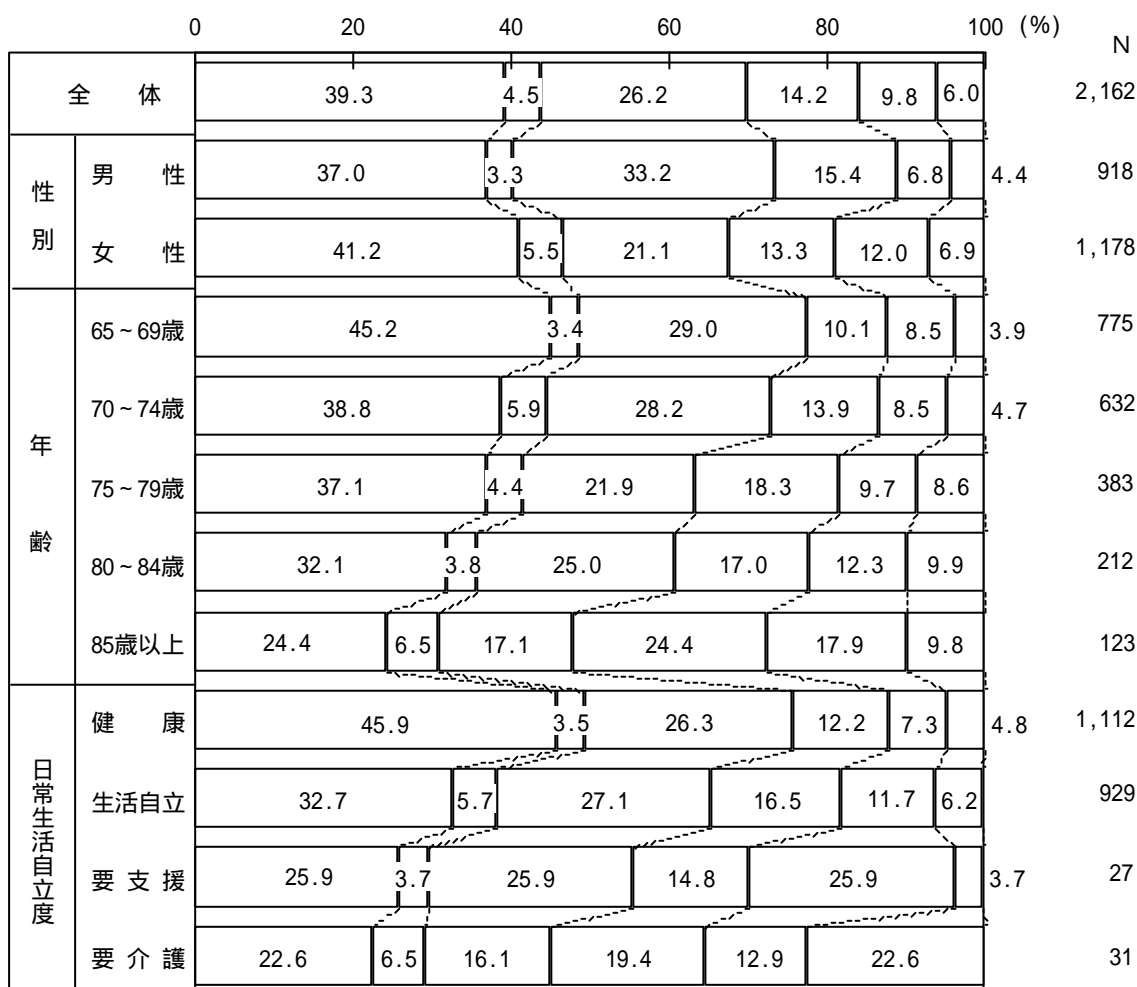
必要になると考える。

(2) 健康診査やがん検診

市が行う健康診査やがん検診を「受けたことがある」のは43.8%、「受けたことがない」は40.4%、「わからない」「無回答」が15.8%です。「受けたことがある」の43.8%中、「今後も受けたい」が39.3%を占めています。「受けたい」は65.5%と、「必要ない」の18.7%を大きく上回っています。

「受けたい」は、性別では男性、年齢別では若年層ほど、日常生活自立度別では自立度が高いほど高くなっています。

図2 - 13 健康診査やがん検診の利用意向



- 受けたことがあるし、今後も受けたい
- 受けたことがあるが、今後は必要ない
- 受けたことはないが、今後は受けたい
- 受けたことはないし、今後も必要ない
- わからない
- 無回答

本設問についての添え書きとして、以下の記述がありました。

かかりつけの病院で定期検診を受けているので必要ない。(4件)

病院へ行くからいらぬ。(2件)

大学病院で眼内出血と足の治療。

通院中。

結果が出るのが遅いからだめ。総合検診ができない。

会社で受けているが今後は必要。

年1回の成人検診は大変良い。

1年に2回は必要。

日赤、県病院、市民病院、大学病院等大きな病院ではなく、小規模な病院にては甚だ器具も小規模にて安心感が乏しく、同じ受けるなら大きな病院にて年1回でいいから確実な事実を知ることが望ましく思います。

私は受けていないが、家族は受けた。

公民館、保健福祉センターでは意味がない。

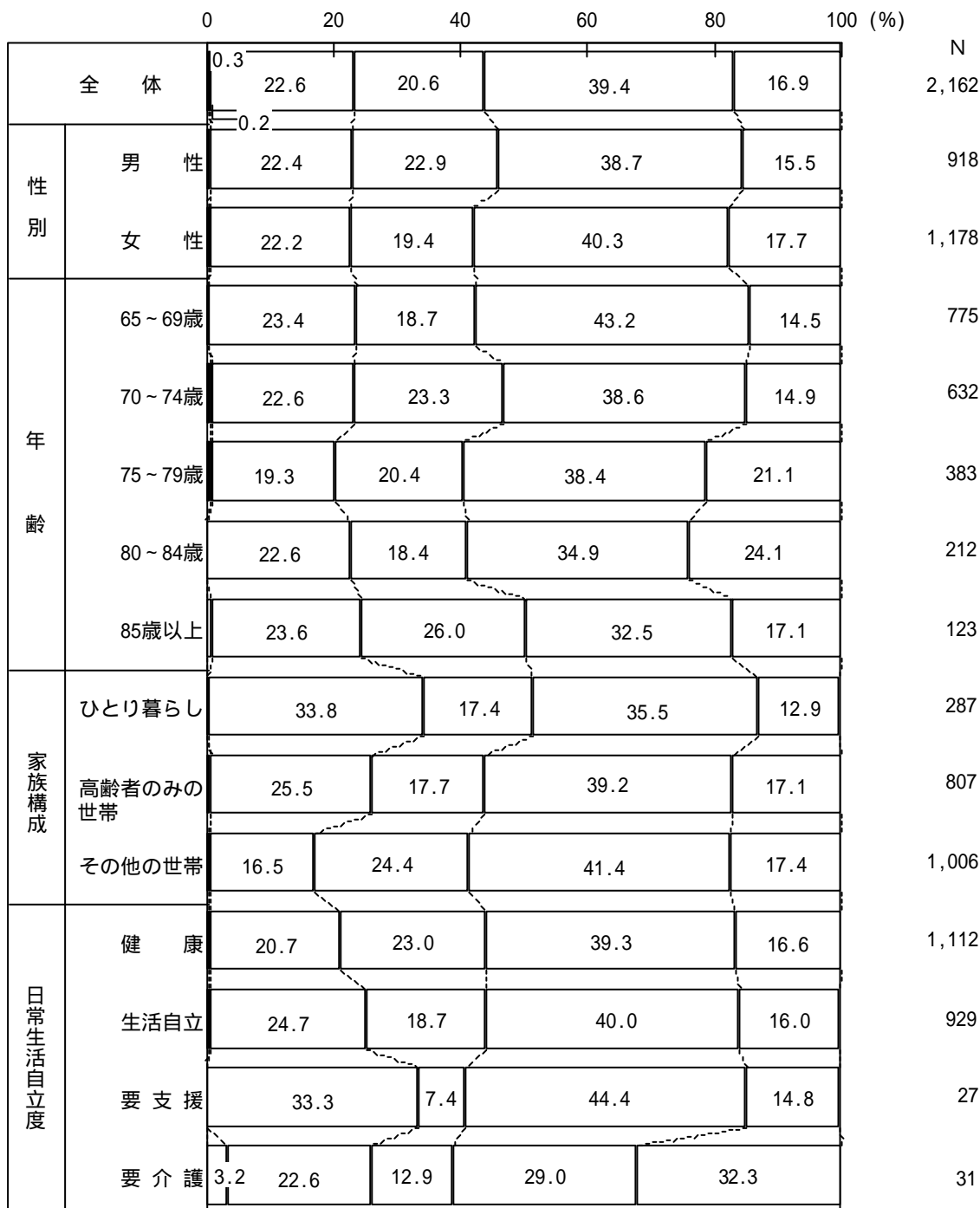
受けたことはないが、今後必要になると感じたときは受けたい。

節目健診、すこやか健診と重複しないように。

(3) 軽度生活援助事業

介護保険の要介護認定で自立（非該当）と判定されたひとり暮らし高齢者等の家庭を対象として、家事などのお手伝いをする軽度生活援助事業は、「利用したことがある」が0.5%（11人）でそのうち0.2%（4人）が「今後は必要ない」と答えています。

図2 - 14 軽度生活援助事業の利用意向



- 利用したことがあるし、今後も利用したい
- 利用したことがあるが、今後は必要ない
- 利用したことはないが、今後は利用したい
- 利用したことはないし、今後も必要ない
- わからない
- 無回答

本設問について、次の添え書きがありました。

今は元気だから。(4件)

必要があれば利用したい。(3件)

そのときの体調によりますから何回とはいえません。(2件)

今の所必要ない。(2件)

今は7人家族ですから。

ひとり暮らしになったとき必要。

現在の私の状態では全く必要ありません。

今は考えられない。

要介護認定を申請していないが、近い将来認定を受けなければならないと思う。

今の自分の状況から回答しており、将来的とか制度的という判断では解答していない(問10(3)から(8)まで)

主人は前から利用して助かっています。

認定を受けていないので分からない。

質問がナンセンス。健康ならば必要ないし、病気になれば必要となる(10(3)~(7))。

今は体調が悪いところがないので、その時にならなければ分からない。

現在は実感がなく、自分自身を含め身近に該当者がいない。

経験がないので実感がない。

今は質問には該当しないが、もしその節には3(10(3)~(8))

先月65歳になったばかりの者には質問がどうかと思います(10(3)~(6))

図2-15は、軽度生活援助事業を「利用したことがあるし今後も利用したい」と答えた7人にその利用希望回数をお聞きした結果です。3人が「週1回」、2人が「週2回」と答えています。

図2-15 軽度生活援助事業の利用希望回数（利用したことがある人）

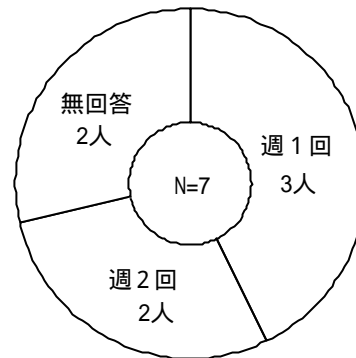


図2-16は、軽度生活援助事業を「利用したことはないが、今後は利用したい」と答えた488人にその利用希望回数をお聞きした結果です。

「週2回」が30.5%あり、次いで「週1回」が20.5%、「週3回」が18.6%などとなっています。「利用したことはないが、今後は利用したい」の488人中日常生活自立度が健康の人が230人います。

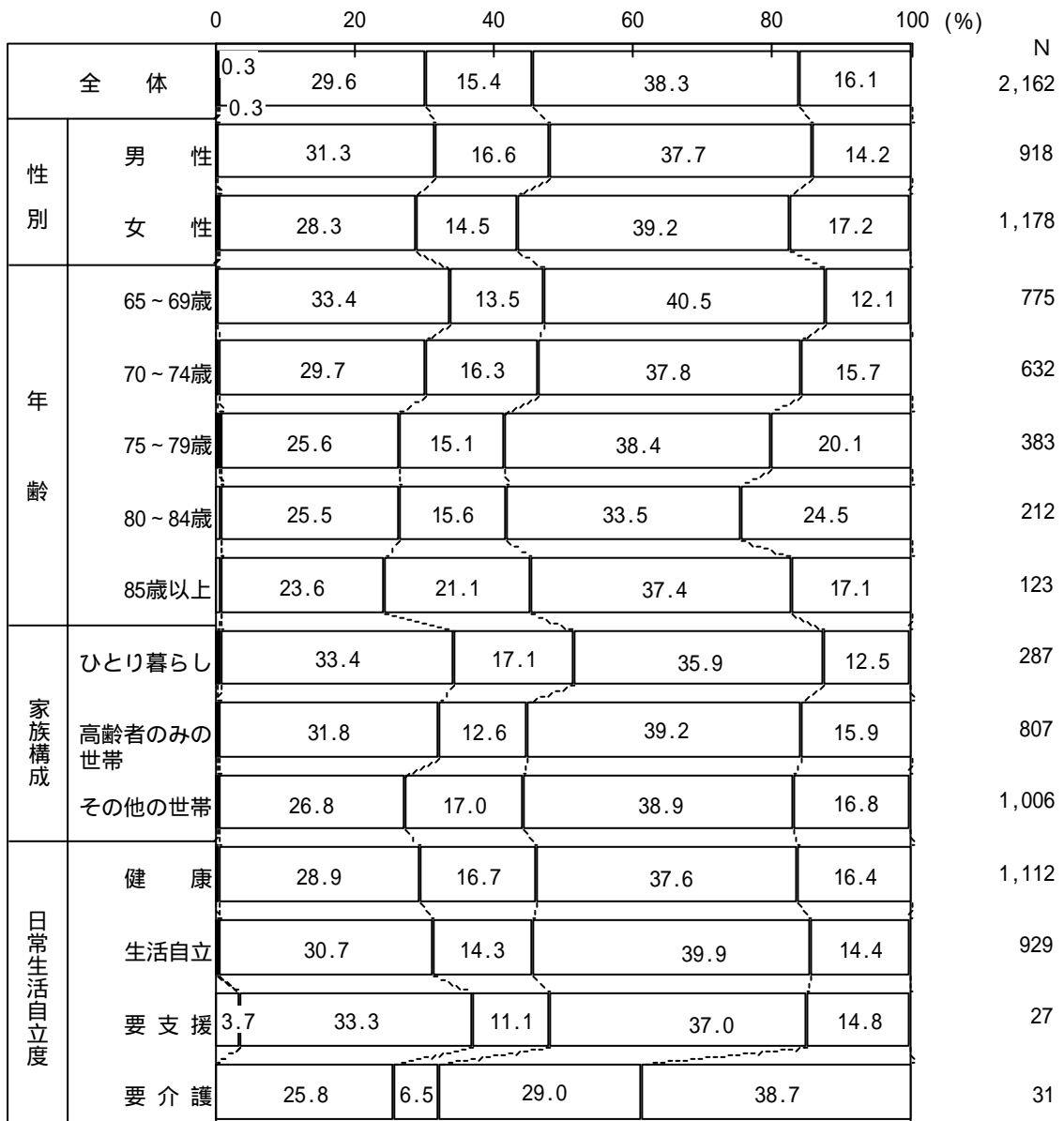
図2-16 軽度生活援助事業の利用希望回数（利用したことがない人）

		0	20	40	60	80	100 (%)	N
全体		週4回以上 3.9						
		週1回 20.5	週2回 30.5	週3回 18.6	週4回以上 3.9	無回答 26.4		488
性別	男性	18.0	31.1	18.4	3.9	28.6		206
	女性	22.1	30.5	18.7	3.8	24.8		262
家族構成	ひとり暮らし	20.6	36.1	14.4	6.2	22.7		97
	高齢者のみの世帯	18.4	28.6	22.8	3.9	26.2		206
	その他の世帯	22.3	31.9	15.7	2.4	27.7		166
日常生活自立度	健康	22.2	32.2	16.1	2.6	27.0		230
	生活自立	19.2	28.8	21.4	4.4	26.2		229
	要支援	44.4		11.1	11.1	33.3		9
	要介護	28.6	42.9		14.3	14.3		7

(4) 生きがい活動支援通所事業

介護保険の要介護認定で自立（非該当）と判定されたひとり暮らし高齢者等で家に閉じこもりがちな方に、デイサービスセンター等において日常動作訓練や生きがい活動等のサービスを提供する生きがい活動支援通所事業は、「利用したことがある」が0.6%（13人）であり、そのうち0.3%（6人）が「今後は必要ない」と答えています。「利用したことはないが、今後は利用したい」が29.6%（641人）とかなり高い率ですが、そのうち約半分の321人が日常生活自立度が健康の人です。

図2 - 17 生きがい活動支援通所事業



- 利用したことがあるし、今後も利用したい
- 利用したことはないが、今後は利用したい
- わからない
- 利用したことがあるが、今後は必要ない
- 利用したことはないし、今後も必要ない
- 無回答

本設問について、次の添え書きがありました。

必要となったら利用したい。(4件)

母がひとり暮らしで閉じこもりをしています。人前に出ることが大嫌いで困っています。

91歳です。

利用したことがない。

家にこもりがちだと相手にされなくなると思うので、話し合える人がいることは生きがいになると思う。

そのときになってみないと分からない。

しかし、プライドを傷つけられるような態度はとってほしくない。

実際に見たことがないので全く分からない。

利用したことはないが、今後は分からない(10(3)~(7))。

週に1度は体操、週に2度はグランドゴルフに行っている。

経験がないので分からない。

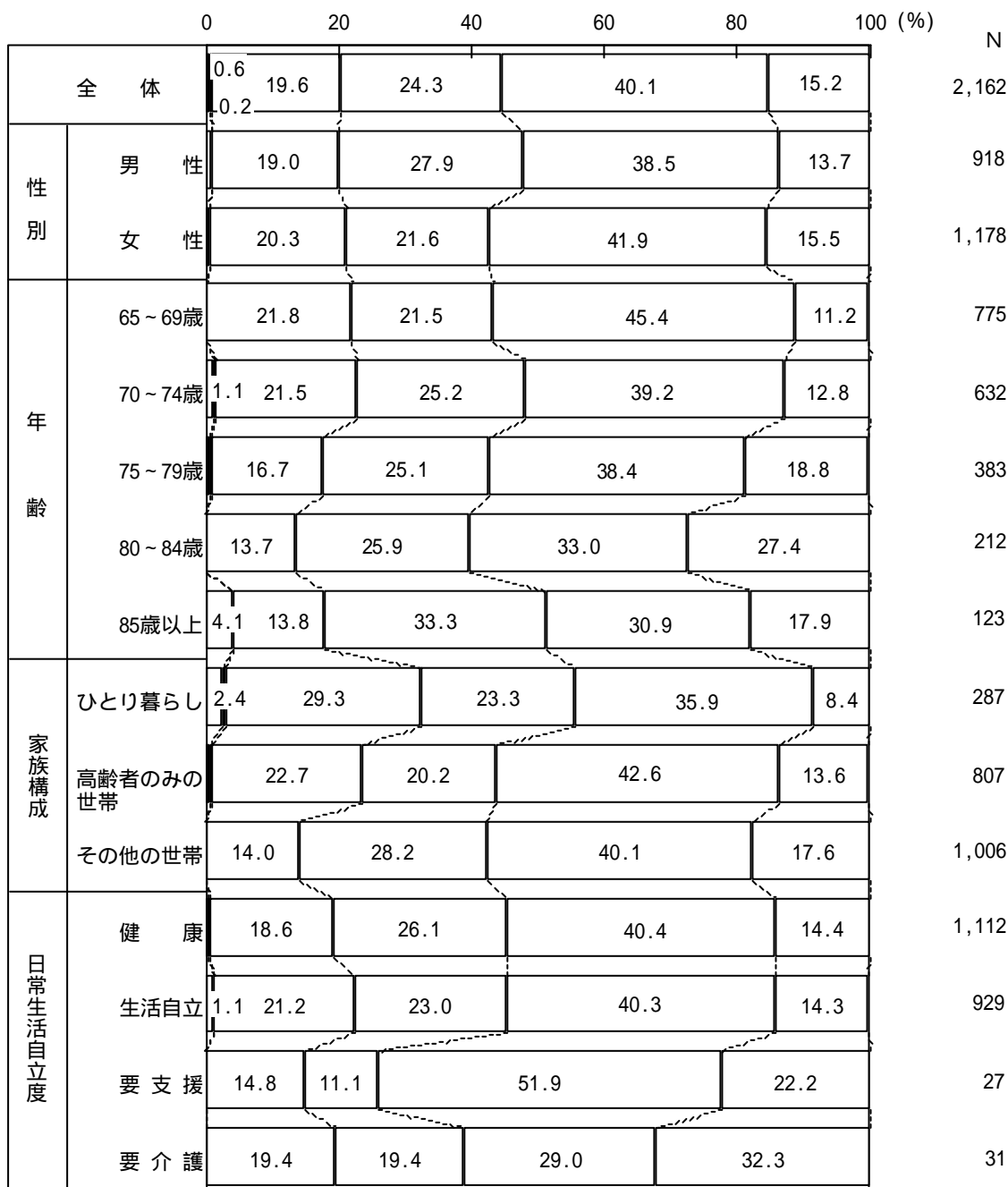
健康なので不問です。

今の所必要ない。

(5) 配食サービス

ひとり暮らし高齢者等に食事を届ける配食サービスは、「利用したことがある」が0.8%（18人）であり、そのうち0.2%（4人）が「今後は必要ない」と答えています。「利用したことがある」は、年齢別では85歳以上、家族構成別ではひとり暮らしが高くなっています。

図2-18 配食サービスの利用意向



- 利用したことがあるし、今後も利用したい
- 利用したことがあるが、今後は必要ない
- 利用したことはないが、今後は利用したい
- 利用したことはないし、今後も必要ない
- わからない
- 無回答

本設問について、次の添え書きがありました。

その時になってみないと分からない。(4件)

先のことは分からないが、利用することになるかもしれない。(2件)

今では必要ない。(2件)

必要になったときには利用したい。(2件)

体の自由が利かなくなったら利用したいので、回数は分かりません。

一人になったら利用したい。

配食サービスはあった方がよい。

配食は良いサービスだと思います。

日赤奉仕団体会員時、共同で作って届けたことあり。

ひとり暮らしになったら考える。

今後のことはどうなるか断言できない。

1食いくらか、内容が不明。

以後利用するとしたら1日1回程度。

現在は夫婦で暮らしている。

どんなメニューなのか？

その時の都合。

健康なので不問です。

図2-19は、配食サービスを「利用したことがあるし、今後も利用したい」と答えた14人に1か月あたりの利用希望回数をお聞きした結果です。毎日型と考えられる「31回以上」は1人(7.1%)です。

図2-19 1か月あたりの配食利用希望回数(利用したことがある人)

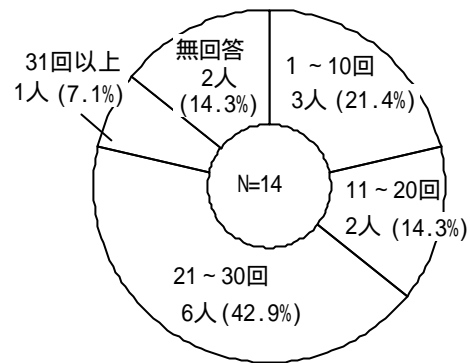
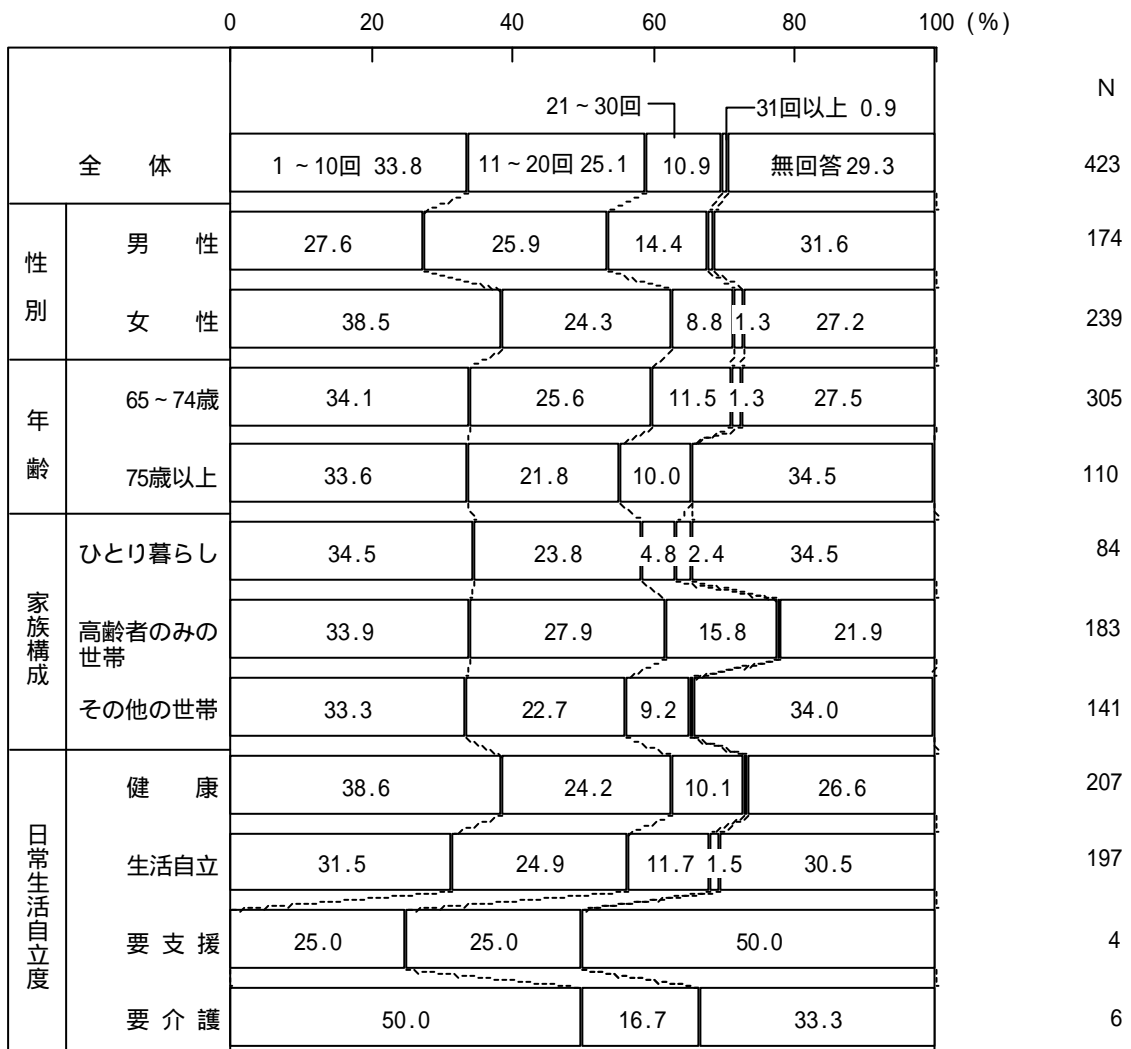


図2-20は、配食サービスを「利用したことはないが、今後は利用したい」と答えた423人に1か月あたりの利用希望回数をお聞きした結果です。「1~10回」が33.8%、「11~20回」が25.1%などとなっています。

図2-20 1か月あたりの配食希望回数(利用したことがない人)



(6) 在宅介護支援センター

24時間体制で介護などの相談に応じる在宅介護支援センターを「利用したことがある」は、わずか0.4%（8人）にすぎません。そのうち、0.1%（2人）は「今後は必要ない」と答えています。調査対象者が介護保険サービスを利用していない人なので、このような結果になっていると考えられます。

図2-21 在宅介護支援センターの利用意向

		0	20	40	60	80	100 (%)	N
全 体		0.3 0.1	33.5	16.1	37.9	12.0		2,162
性 別	男 性		35.5	17.8	35.0	11.2		918
	女 性		32.0	15.0	40.4	12.3		1,178
家 族 構 成	ひとり暮らし		37.6	18.1	36.2	7.7		287
	高齢者のみの世帯		36.8	12.6	39.3	11.0		807
	その他の世帯		30.0	18.2	38.0	13.3		1,006
日 常 生 活 自 立 度	健 康		32.0	17.4	38.5	11.9		1,112
	生活自立		36.4	15.0	38.1	10.2		929
	要 支 援		29.6	11.1	40.7	18.5		27
	要 介 護	6.5	22.6	6.5	35.5	29.0		31

- 利用したことがあるし、今後も利用したい 利用したことがあるが、今後は必要ない
 利用したことはないが、今後は利用したい 利用したことはないし、今後も必要ない
 わからない 無回答

本設問に次の添え書きをした人がいました。

今は必要ない。(2件)

現時点では健康ですが、この先なにが起こるか分からないので今後は利用したい。(2件)

必要になったときには利用したい。(2件)

こういう所があると心強い。

今年3月に倒れたとき、支援センターに頼み1回だけ クリニックを利用した。

今後のことは分からない。

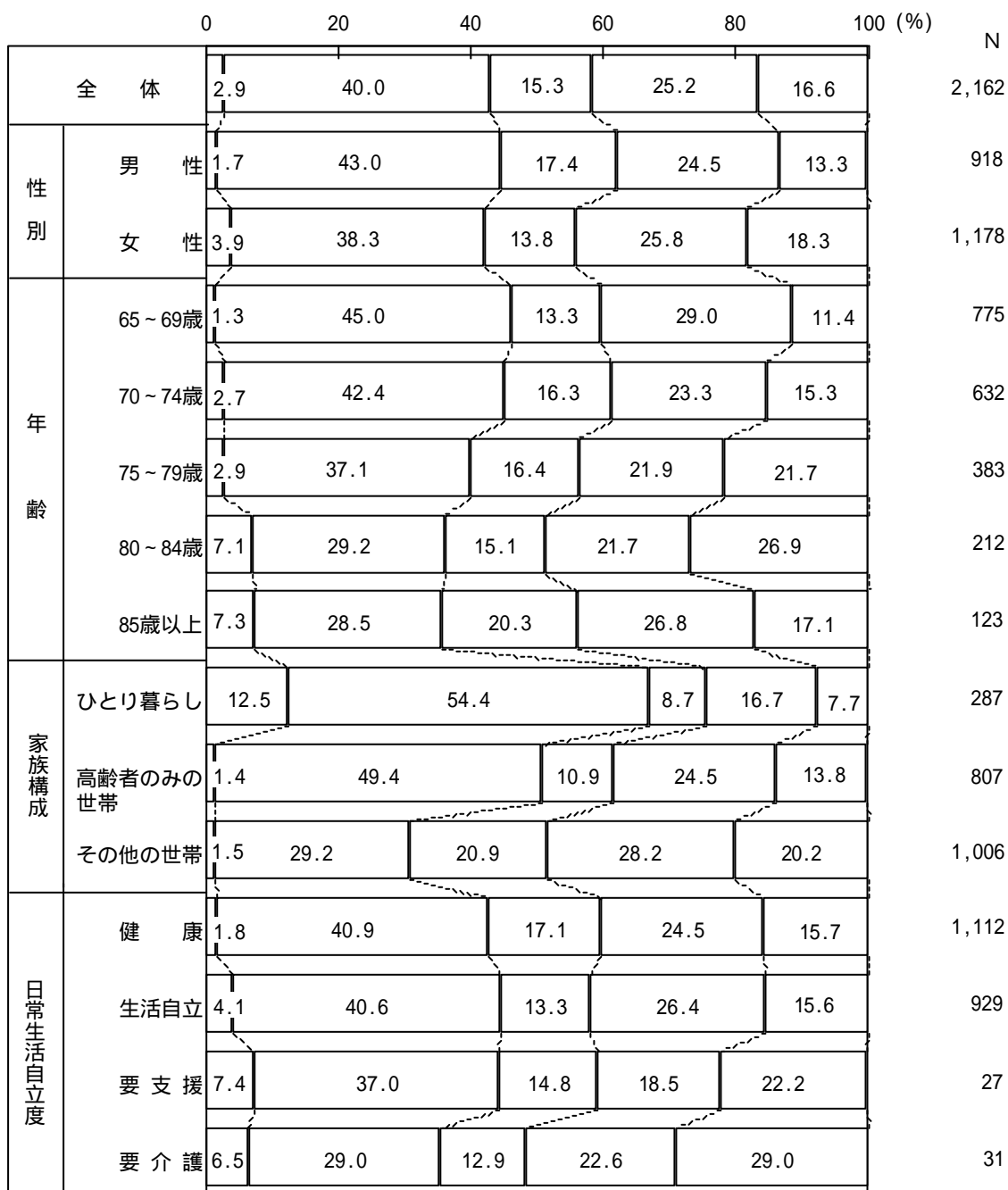
病院に入院した方がよい。

息子といるので分からない。

(7) 緊急通報装置の設置

ひとり暮らし高齢者等が急病等のときに簡単に連絡できる緊急通報装置を「設置している」は2.9%（63人）で、「設置したことはないが、今後は設置したい」が40.0%あります。「設置している」「設置したことはないが、今後は設置したい」を家族構成別にみると、ひとり暮らしが66.9%、高齢者のみの世帯が50.8%と非常に高い利用意向を示しています。

図2-22 緊急通報装置の利用意向



- 設置している
- 設置したことはないが、今後は設置したい
- 設置したことはないし、今後も必要ない
- わからない
- 無回答

本設問について、次の添え書きがありました。

一人になったら設置したい。(8 件)

ひとり暮らしでないから分からない。(2 件)

今のところは分からない。(2 件)

普通の電話で 1 1 9 番にお願いしたらと思います。

現在元気なので予測できない。

携帯電話を持っている。

申し込み中。

夫婦で暮らしているから救急車に電話する。

現在の電話機の機能を改善し、一般の電話にその機能を持たせればよい。

あった方がいいのだろうが、今は必要ないと考える。

家に一人でいることが多いから。

一人でいたときは市の方から設置して下さったが、今はやっていない。

方法などについて知りたい。

必要ないとは言い切れない。

(8) ケアハウス・生活支援ハウス・シルバーハウジング

ひとり暮らしや夫婦のみの世帯の高齢者が訪問介護等を活用し、自立した生活がつづけられるよう工夫されたケアハウスや生活支援ハウス、シルバーハウジングに「入居したい」と答えた人が13.0%（282人）もいます。特に、ひとり暮らしが23.0%（66人）、高齢者のみの世帯が16.5%（133人）と高い率を示しています。

図2-23 ケアハウス・生活支援ハウス・シルバーハウジングの入居意向

		0 20 40 60 80 100 (%)					
		┌ 入居したい	└ 入居したくない	わからない		無回答	N
全 体		13.0	21.2	48.5		17.3	2,162
性 別	男 性	13.2	22.5	50.5		13.7	918
	女 性	13.2	20.3	47.7		18.8	1,178
家 族 構 成	ひとり暮らし	23.0	19.9	44.9		12.2	287
	高齢者のみの世帯	16.5	21.1	52.2		10.3	807
	その他の世帯	7.7	21.9	47.7		22.8	1,006
日 常 生 活 自 立 度	健 康	13.8	22.6	47.2		16.4	1,112
	生活自立	12.5	20.1	51.3		16.0	929
	要 支 援	11.1	11.1	59.3		18.5	27
	要 介 護	12.9	22.6	29.0	35.5		31

本設問について、次の添え書きがありました。

入居する必要がない。(2件)

もっと年をとったら入居したい。(2件)

入居したくないが、事情が変われば困るのであった方がよい。

入居したいが家族のことが心配。

入居したいけどお金がかかるから入れない。

独りで主人の世話ができなくなれば、入居せざるを得ない。

現在はまだ自分の家で暮らしたいと思う気持ちの方が強い。

今のままでいい。